

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) 就労支援サービス		授業の種類 (講義・演習・実習)		授業担当者 濱田 新	
回数 8回	時間数 (単位数) 1.5時間	配当学年・時期 1年 前期		<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	
【授業の目的・ねらい】 相談援助活動において必要となる各種の就労支援制度について理解するとともに、就労困難者と就労のための福祉の支援の在り方について習得する。また、就労支援やその継続が実現できない人々の暮らしに向き合う社会福祉士の役割について習得する。					
【授業全体の内容の概要】 就労支援サービスの概要を理解し、雇用・就労の動向と施策、障がい者と就労支援、低所得者と就労支援、専門職の役割と実際、就労支援の連携と実際について学ぶ。					
【授業修了時の達成課題 (到達目標)】 <ol style="list-style-type: none"> 1. 雇用・就労の動向、労働法規について説明ができる。 2. 障がい者に対する就労支援について説明ができる。 3. 低所得者に対する就労支援について説明ができる。 4. 就労支援に係る組織、団体及び専門職の理解と連携のあり方について説明ができる。 					
【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】 <ol style="list-style-type: none"> 1. 働くことの意味と社会福祉士の役割、雇用・就労の動向と施策 2. 障害者と就労支援① 3. 障害者と就労支援② 4. 障害者と就労支援③ 5. 低所得者と就労支援 6. 専門職の役割と実際 7. 就労支援の連携と実際、さまざまな働き方の支援 8. まとめ、国家試験過去問/国家試験対策/試験範囲説明 <p>前期末試験</p>					
【使用テキスト・参考文献】 新・社会福祉士養成講座 「就労支援サービス」 中央法規 社会福祉小六法2021 [令和3年版] ミネルヴァ書房			【単位認定の方法及び基準】 授業態度、試験、出席状況から総合的に評価し、単位認定を行う。下記の記載内容も留意すること。 ※1 試験の評価基準：6割以上の成績にて合格。 ※2 出席の評価基準：欠席が多い場合には、前期試験の受験資格が得られない。また、単位認定も行わない。		